

研究の概要 (オプトアウト公開用)

令和 8 年 3 月 8 日

臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明のうえ同意を取得して実施をします。臨床研究のうち、研究対象者等（患者さん等）への侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究や、既存の試料のみを用いるような研究については、国が定めた指針に基づき、研究対象者等のお一人ずつから、必ずしも直接同意を得る必要はありませんが、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております。このような手法を「オプトアウト」と言います。

本研究への協力を希望されない場合あるいはご質問などにつきましては、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

審査課題名	AZF 解析における判定不能例の転帰と核型分析併用の意義に関する検討
実施責任者	英ウィメンズクリニック 理事長 塩谷雅英
研究代表者	英ウィメンズクリニック 培養部門 中原恵理
研究対象者	2022 年 7 月から 2026 年 2 月末までに、AZF 解析および核型分析を実施した 124 症例
研究期間	2026 年 2 月 1 日 ~ 2026 年 8 月 31 日
研究目的・方法	本邦では、micro-TESE 施行前に AZF 解析を行うことが強く推奨されている。検査結果は精子回収率の予測に重要だが、実臨床では定型的なパターンに合致しない判定不能例や染色体構造異常も重複しているケースを経験する。本研究では、これら非典型例の転帰と核型分析を併用する臨床的意義を検討する。
研究に用いられる試料・情報	対象症例の診療記録
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を特定できる個人情報は削除いたします。また研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際にも患者様を特定できる情報は含まれません。
お問い合わせ先	英ウィメンズクリニック 倫理委員会事務局担当 山本健児 電話：078-392-8716